資料３

「立山町のこれからのまちづくりに関する町民意識調査」

調査結果報告書（速報版）

１．調査概要

■目的

立山町在住の町民を対象に、暮らしの状況やこれまでの町の取り組みに対する評価などについて把握し、町の目指すべき将来像と政策の方向性などを示す総合計画・総合戦略の策定及び推進に活かすことを目的とする。

■実施概要

○ 調査期間：令和元年 11 月 14 日～令和元年 11 月 24 日
○ 調査方法：郵送回答
○ 調査圏域：立山町内
○ 調査対象：18 歳以上の立山町在住者
○ 郵送数：2,500 人
○ 回答数：1,162 件
○ 回収率：46.5%

■調査結果の留意点

○ 条件付き調査項目について、指定の回答者以外が回答している場合は無効として集計した。
○ シングルアンサー及びマルチアンサーについて、指定の回答数よりも多く回答している場合は無効として集計した。
○ １．（５）及び５．（３）について、論理的にあり得ない組み合わせで回答している場合は無効として集計した。
○ 回答比率（%）は、小数点第２位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならない場合がある。

■調査項目

○ あなたご自身について：
○ 性別／年齢／居住地区／主な職業／同居している家族
○ 立山町での居住について：
○ 居住歴／今後の定住意向／居住地区の住みやすさ・住みにくさ及びその理由
○ 立山町のイメージについて：各項目の実現度

○　町で進められている取り組みの満足度・重要度について：各項目の満足度／各項目の今後の重要度
○　今後の暮らし方について
○　人口を確保するために特に力を入れるべき対策／長い人生を過ごすことに対する考え／
○　長い人生を過ごすことについて不安に感じること／老後・定年後の暮らし方／
○　生涯学習意欲の有無及びその理由／望むライフスタイル

2. 調査結果

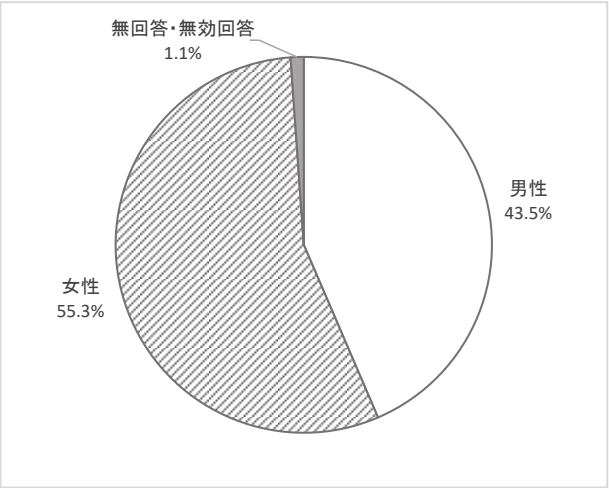
1. あなたご自身について

（1）性別

・女性が 55.3%とやや多いが、概ね半数ずつとなっている。

n＝1, 162

選択肢	回答数	回答比率
男性	506	43. 5%
女性	643	55. 3%
無回答・無効回答	13	1. 1%
合計	1, 162	100. 0%

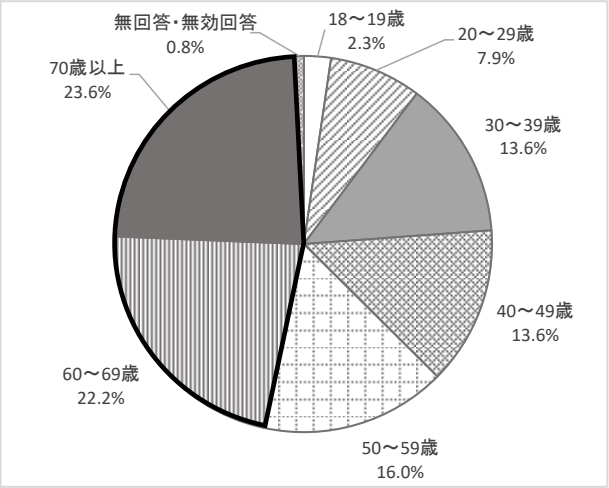


（2）年齢

・60 歳以上が 45.8%と半数近くを占めている。

n＝1, 162

選択肢	回答数	回答比率
18～19 歳	27	2. 3%
20～29 歳	92	7. 9%
30～39 歳	158	13. 6%
40～49 歳	158	13. 6%
50～59 歳	186	16. 0%
60～69 歳	258	22. 2%
70 歳以上	274	23. 6%
無回答・無効回答	9	0. 8%
合計	1, 162	100. 0%

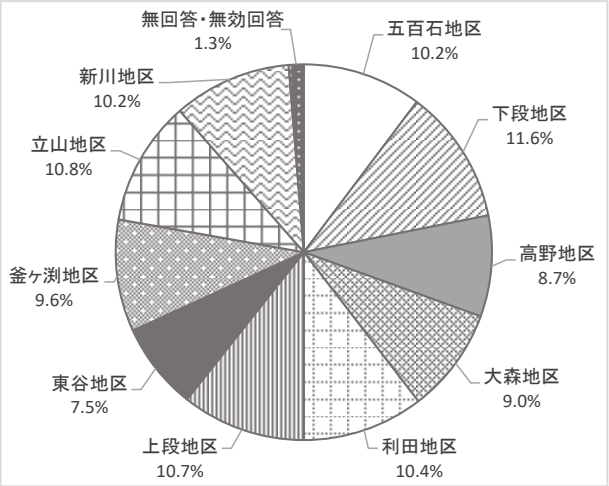


（3）居住地区

・居住地区ごとの回答者数は最小 87 票（東谷地区）、最大 135 票（下段地区）で、大きな偏りはない。

n＝1, 162

選択肢	回答数	回答比率
五百石地区	119	10. 2%
下段地区	135	11. 6%
高野地区	101	8. 7%
大森地区	105	9. 0%
利田地区	121	10. 4%
上段地区	124	10. 7%
東谷地区	87	7. 5%
釜ヶ渕地区	112	9. 6%
立山地区	125	10. 8%
新川地区	118	10. 2%
無回答・無効回答	15	1. 3%
合計	1, 162	100. 0%

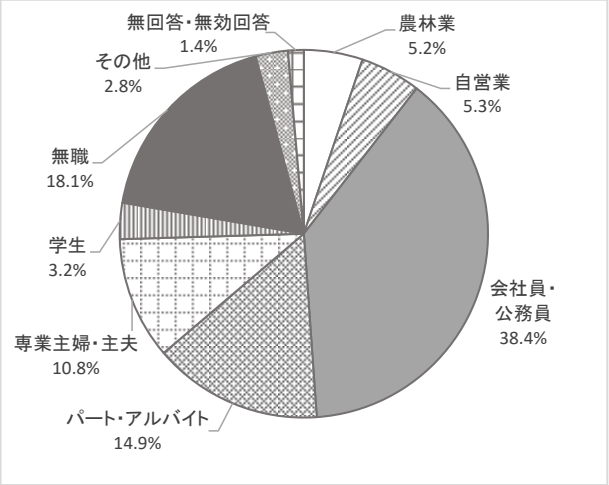


（4）主な職業

・会社員・公務員が 38.4%、次いで無職が 18.1%、パート・アルバイトが 14.9%となっている。

n＝1, 162

選択肢	回答数	回答比率
農林業	60	5. 2%
自営業	62	5. 3%
会社員・公務員	446	38. 4%
パート・アルバイト	173	14. 9%
専業主婦・主夫	125	10. 8%
学生	37	3. 2%
無職	210	18. 1%
その他	33	2. 8%
無回答・無効回答	16	1. 4%
合計	1, 162	100. 0%

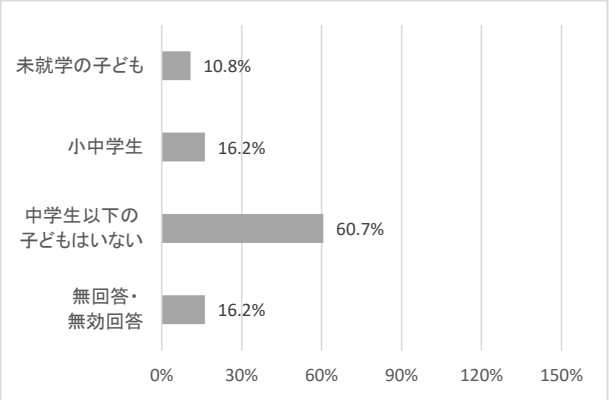


（5）同居している家族（当てはまるものすべて）

・未就学の子どもがいる回答者は 10.8%、小中学生がいる回答者は 16.2%となっている。（重複あり）

n＝1, 162

選択肢	回答数	回答比率
未就学の子ども	126	10. 8%
小中学生	188	16. 2%
中学生以下の子どもはいない	705	60. 7%
無回答・無効回答	188	16. 2%



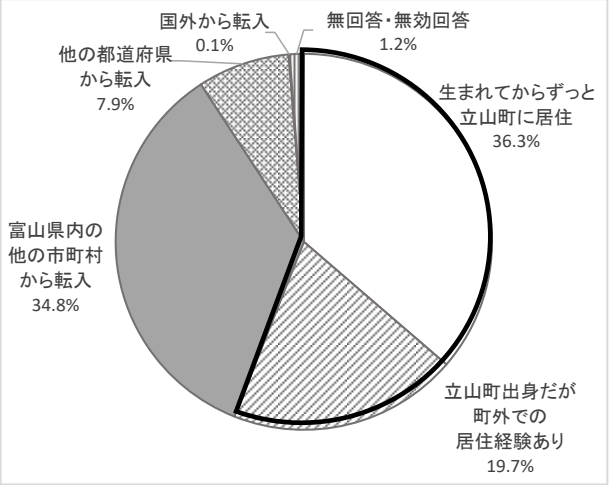
2.　立山町での居住について

（1）居住歴

・立山町以外での居住経験のない回答者が 36.3%、立山町出身で町外での居住経験を有する回答者が 19.7%と、立山町出身者が半数を超えている。
・転入状況は、県内他市町村からが 34.8%、他の都道府県からが 7.9%となっている。

n＝1, 162

選択肢	回答数	回答比率
生まれてからずっと立山町に居住	422	36. 3%
立山町出身だが町外での居住経験あり	229	19. 7%
富山県内の他の市町村から転入	404	34. 8%
他の都道府県から転入	92	7. 9%
国外から転入	1	0. 1%
無回答・無効回答	14	1. 2%
合計	1, 162	100. 0%

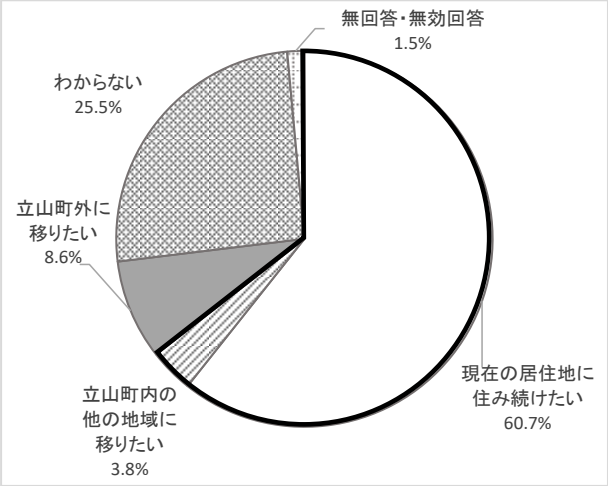


（2）今後の定住意向

・町内での継続居住意向を示す回答者が 64. 5%、町外への転出意向を示す回答者が 8. 6%となっている。
※町内での継続居住意向を示す回答者：「現在の居住地に住み続けたい」＋「立山町内の他の地域に移りたい」

n＝1, 162

選択肢	回答数	回答比率
現在の居住地に住み続けたい	705	60. 7%
立山町内の他の地域に移りたい	44	3. 8%
立山町外に移りたい	100	8. 6%
わからない	296	25. 5%
無回答・無効回答	17	1. 5%
合計	1, 162	100. 0%



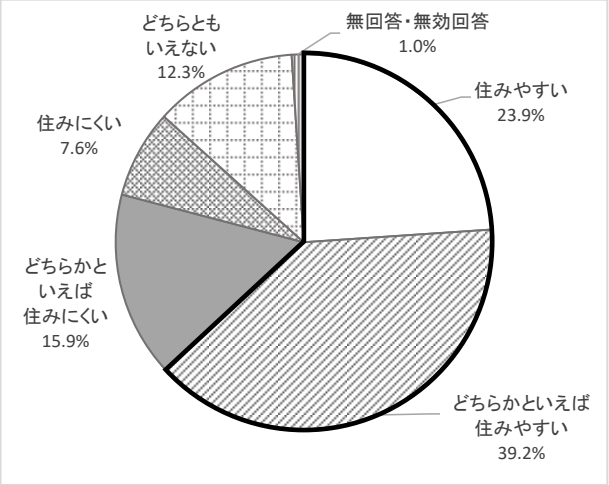
（3）居住地区の住みやすさ

・住みやすさを感じている回答者が 63.1%と６割以上を占める一方、住みにくさを感じている回答者も 23.5%いる。

※住みやすさを感じている回答者：「住みやすい」＋「どちらかといえば住みやすい」
※住みにくさを感じている回答者：「住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」

n＝1,162

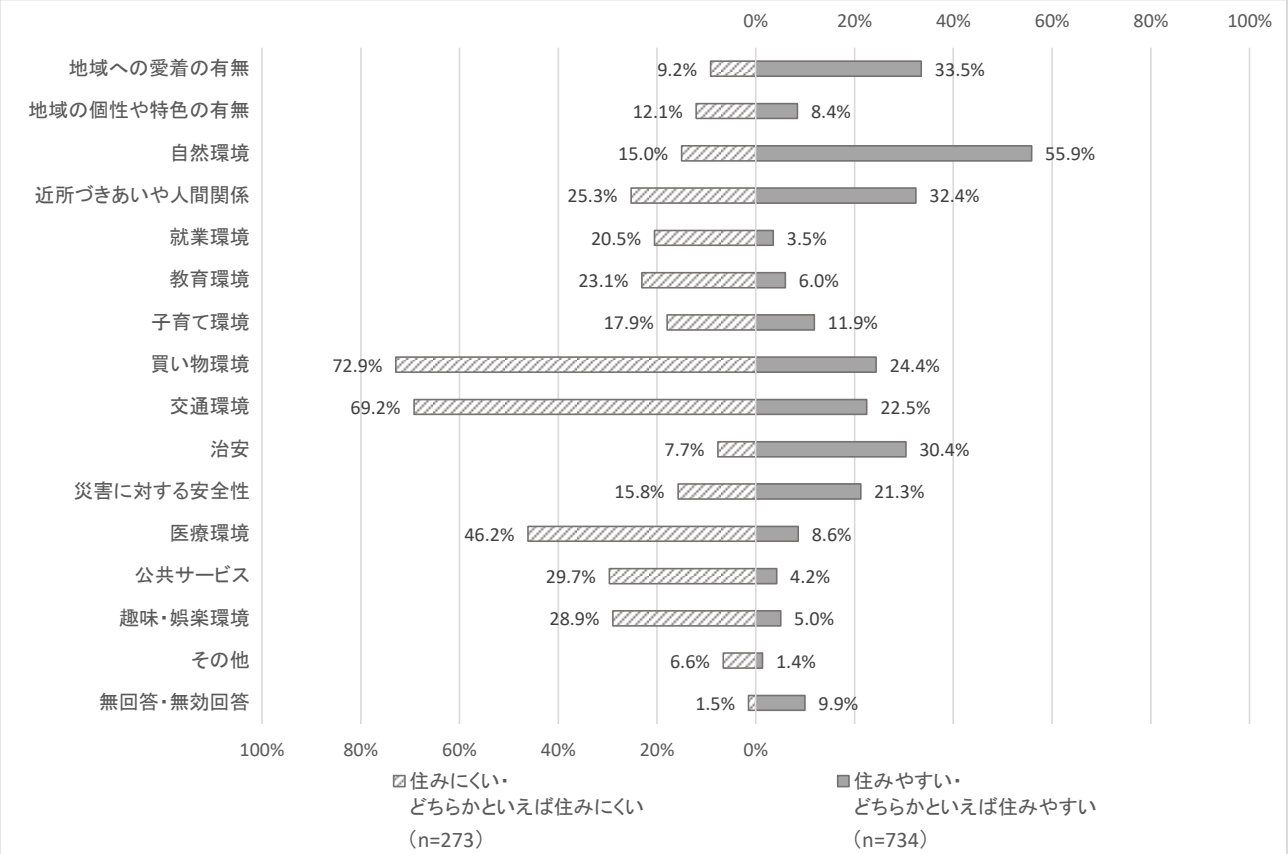
選択肢	回答数	回答比率
住みやすい	278	23.9%
どちらかといえば住みやすい	456	39.2%
どちらかといえば住みにくい	185	15.9%
住みにくい	88	7.6%
どちらともいえない	143	12.3%
無回答・無効回答	12	1.0%
合計	1,162	100.0%



（4）（3）の回答理由（当てはまるものすべて）

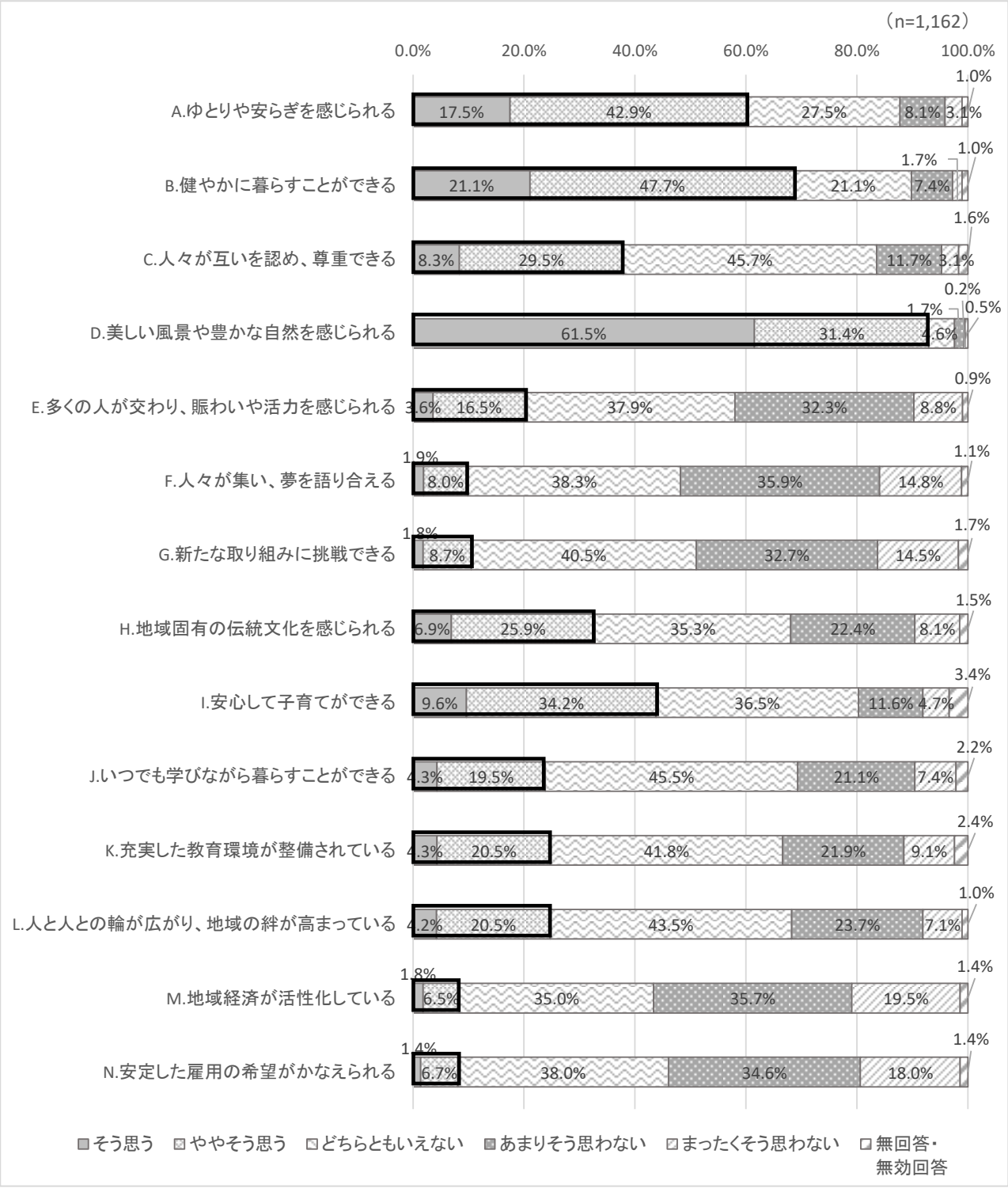
※（3）で、「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」、「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」を選んだ方のみ

・住みやすさの理由としては、「自然環境」（55.9%）や「地域への愛着」（33.5%）、「近所づきあいや人間関係」（32.4%）を挙げる回答者が多い。
・住みにくさの理由としては、「買い物環境」（72.9%）と「交通環境」（69.2%）を挙げる回答者が突出して多い。



3.　立山町のイメージについて

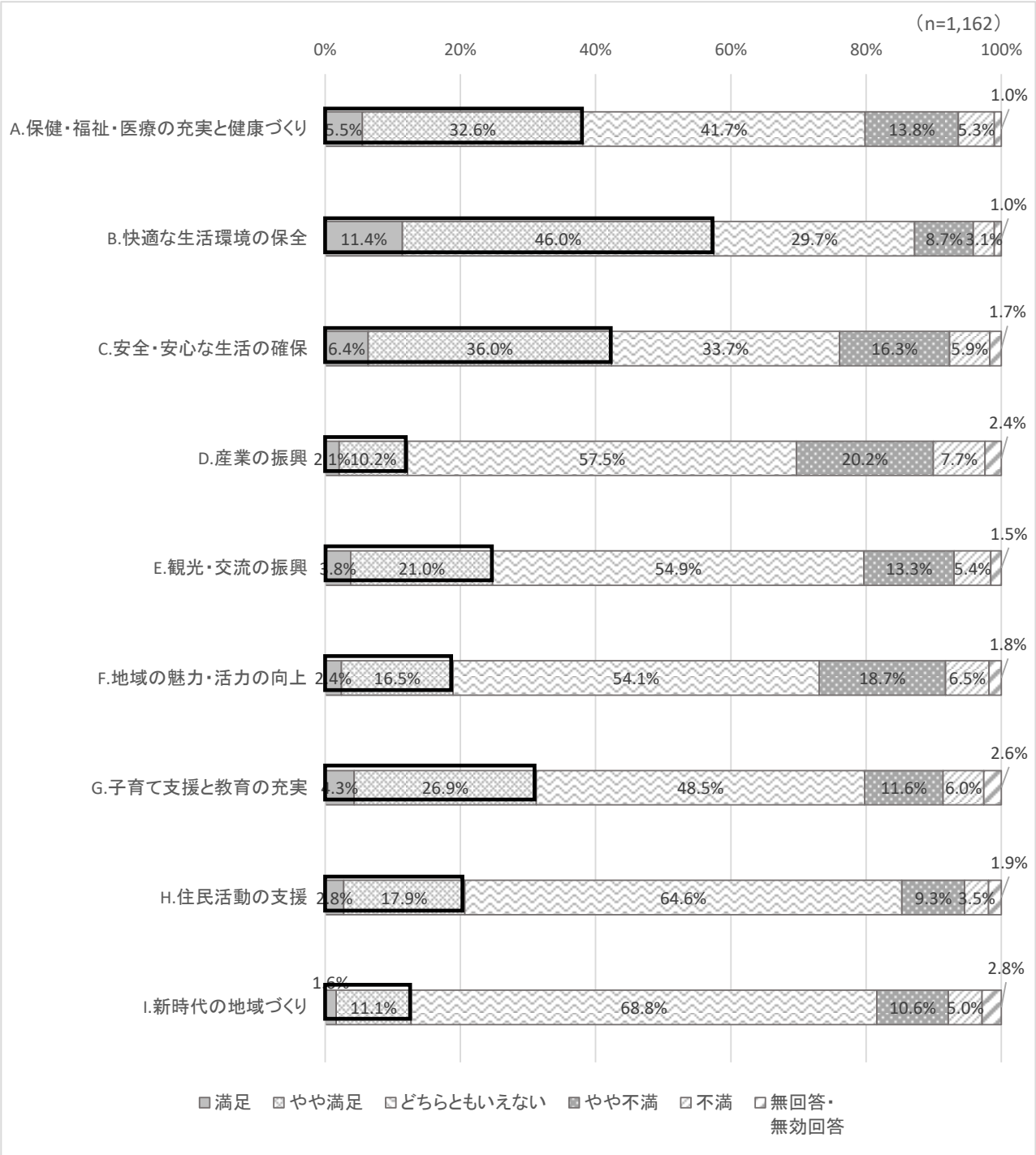
・「美しい風景や豊かな自然を感じられる」を実現していると感じている回答者が 92.9%と９割を超えており、「健やかに暮らすことができる」（68.8%）、「ゆとりや安らぎを感じられる」（60.4%）がこれに続いている。
・一方、「安定した雇用の希望がかなえられる」、「地域経済が活性化している」、「人々が集い、夢を語り合える」、「新たな取り組みに挑戦できる」は、実現していると感じている回答者がいずれも 10%以下と低くなっている。
※実現していると感じている回答者：「そう思う」+「ややそう思う」



4.　町で進められている取り組みの満足度・重要度について

（1）満足度

・「快適な生活環境の保全」の満足度が最も高く、満足傾向を示す回答者が 57.4%と 6 割近くを占めている。「安全・安心な生活の確保」（42.4%）、「保健・福祉・医療の充実と健康づくり」（38.1%）がこれに続いている。
・一方、「産業の振興」や「新時代の地域づくり」は、満足傾向を示す回答者がいずれも 12%台と満足度が低い。
※満足傾向を示す回答者：「満足」+「やや満足」

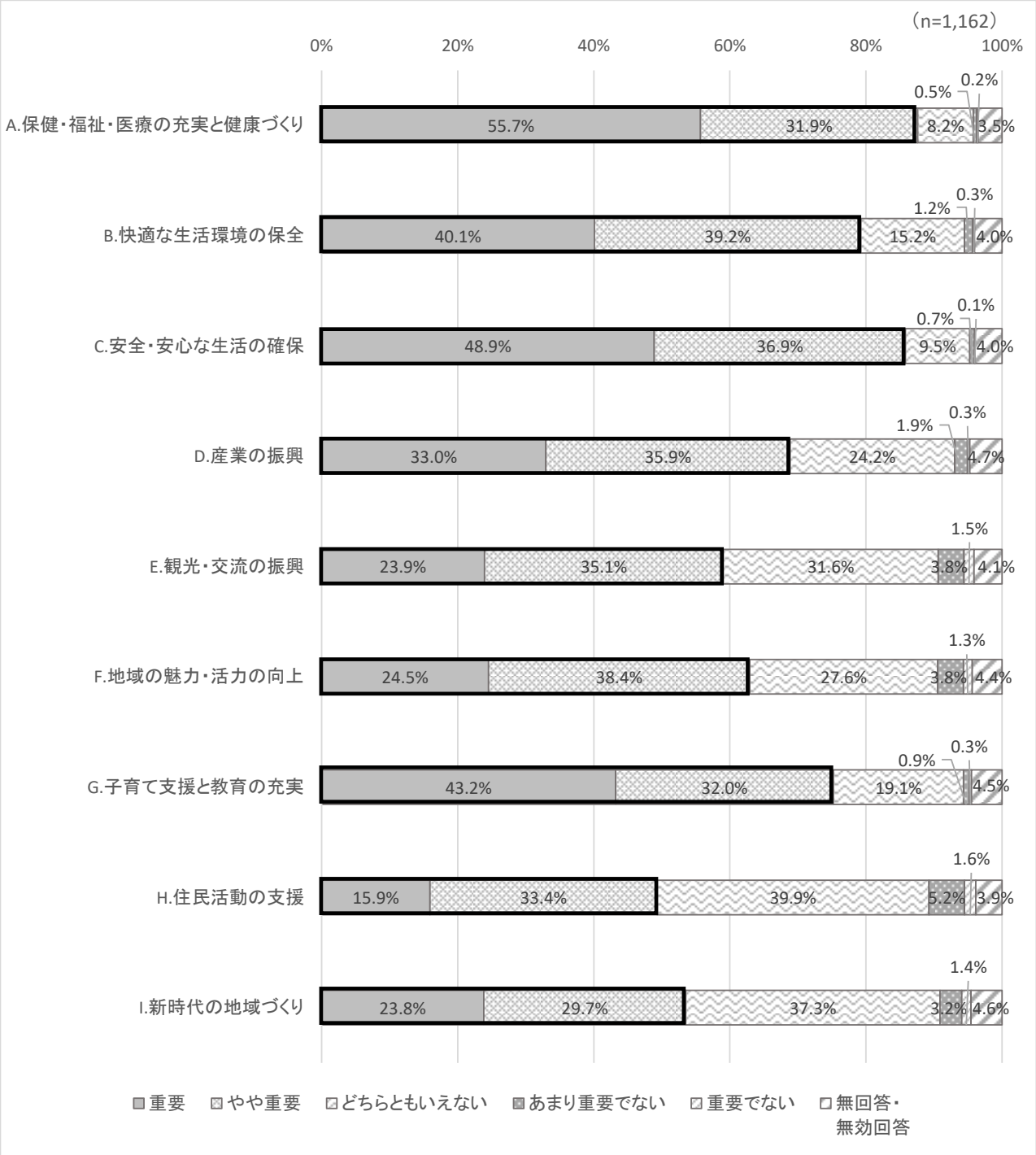


（２）重要度

・全項目とも重要とする傾向が示されており、その中でも「保健・福祉・医療の充実と健康づくり」（87.6%）、「安全・安心な生活の確保」（85.8%）、「快適な生活環境の保全」（79.3%）が、重要とする回答者の割合が高い。

・一方、「住民活動の支援」や「新時代の地域づくり」は、重要とする回答者が５割程度にとどまっている。

※重要とする回答者：「重要」+「やや重要」



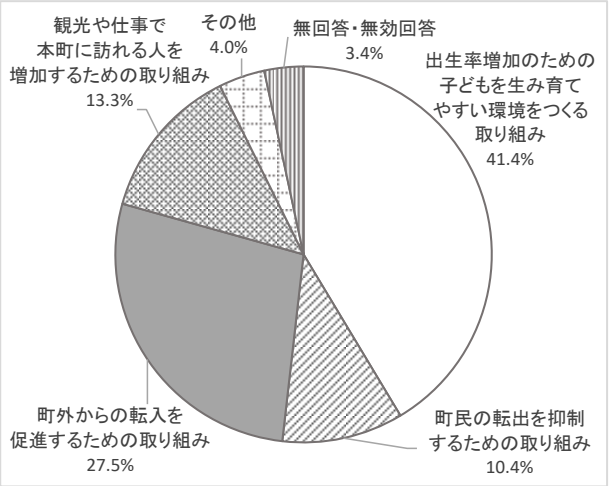
5.　今後の暮らし方について

（1）人口を確保するために特に力を入れるべき対策

・「出生率増加のための子どもを生み育てやすい環境をつくる取り組み」に特に力を入れるべきとする回答者が41.4%と最も多く、「町外からの転入を促進するための取り組み」が27.5%で続いている。

n＝1,162

選択肢	回答数	回答比率
出生率増加のための子どもを生み育てやすい環境をつくる取り組み	481	41.4%
町民の転出を抑制するための取り組み	121	10.4%
町外からの転入を促進するための取り組み	320	27.5%
観光や仕事で本町に訪れる人を増加するための取り組み	155	13.3%
その他	46	4.0%
無回答・無効回答	39	3.4%
合計	1,162	100.0%



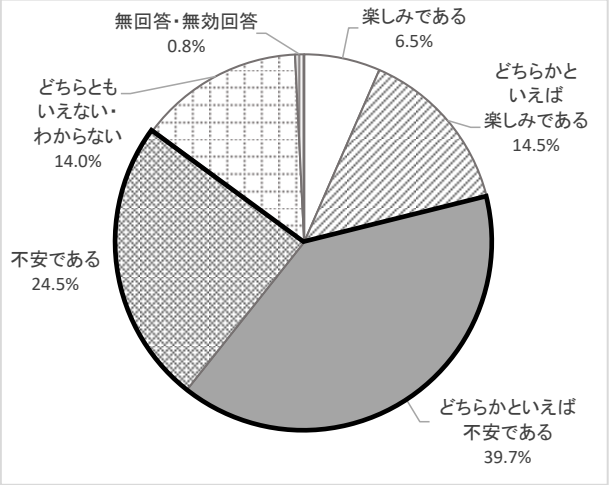
（2）長い人生を過ごすことに対する考え

・不安傾向を示す回答者が64.2%と６割を超えている。

※不安傾向を示す回答者：「不安である」+「どちらかといえば不安である」

n＝1,162

選択肢	回答数	回答比率
楽しみである	76	6.5%
どちらかといえば楽しみである	168	14.5%
どちらかといえば不安である	461	39.7%
不安である	285	24.5%
どちらともいえない・わからない	163	14.0%
無回答・無効回答	9	0.8%
合計	1,162	100.0%

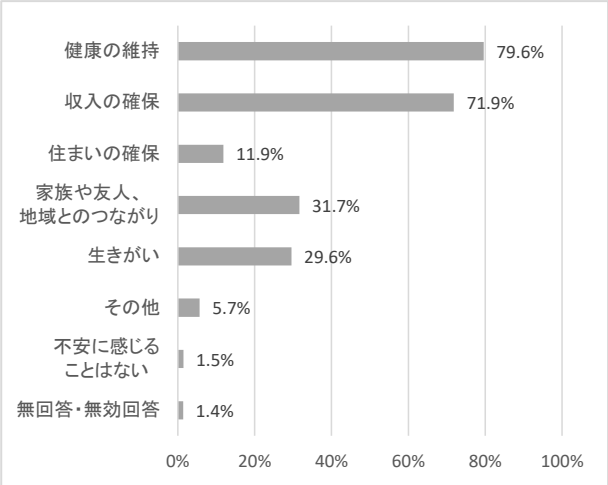


（3）長い人生を過ごすことについて不安に感じること（３つまで選択）

・不安に感じることは、「健康の維持」（79.6%）や「収入の確保」（71.9%）を挙げる回答者が突出して多い。

n＝1,162

選択肢	回答数	回答比率
健康の維持	925	79.6%
収入の確保	835	71.9%
住まいの確保	138	11.9%
家族や友人、地域とのつながり	368	31.7%
生きがい	344	29.6%
その他	66	5.7%
不安に感じることはない	17	1.5%
無回答・無効回答	16	1.4%



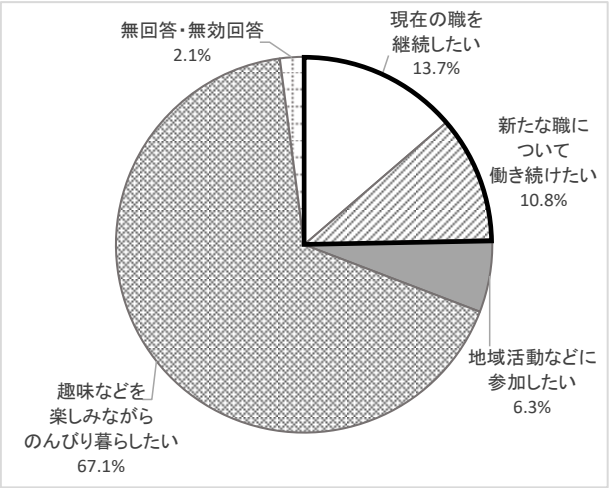
（4）老後・定年後の暮らし方

・老後や定年後の暮らしについては、「趣味などを楽しみながらのんびり暮らしたい」とする回答者が 67.1%と７割近くを占めており、就業意向を示す回答者は 24.5%にとどまっている。

※就業意向を示す回答者：「現在の職を継続したい」+「新たな職について働き続けたい」

n＝1,162

選択肢	回答数	回答比率
現在の職を継続したい	159	13.7%
新たな職について働き続けたい（現在、職についていない場合を含む）	126	10.8%
地域活動などに参加したい	73	6.3%
趣味などを楽しみながらのんびり暮らしたい	780	67.1%
無回答・無効回答	24	2.1%
合計	1,162	100.0%

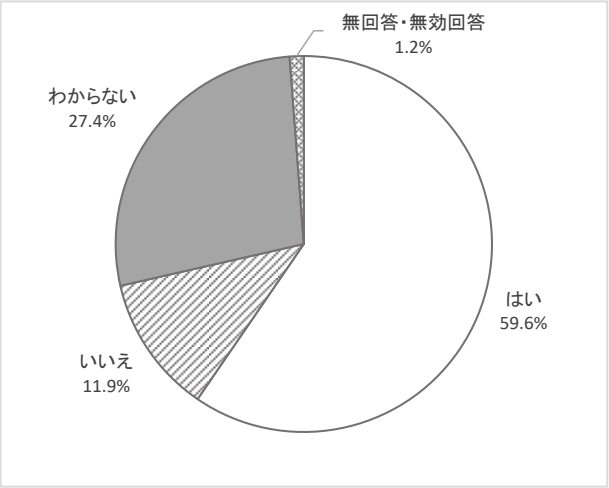


（5）生涯学習意欲の有無

・59. 6%と約６割の回答者が生涯学習の意欲を示している。

n＝1, 162

選択肢	回答数	回答比率
はい	692	59. 6%
いいえ	138	11. 9%
わからない	318	27. 4%
無回答・無効回答	14	1. 2%
合計	1, 162	100. 0%



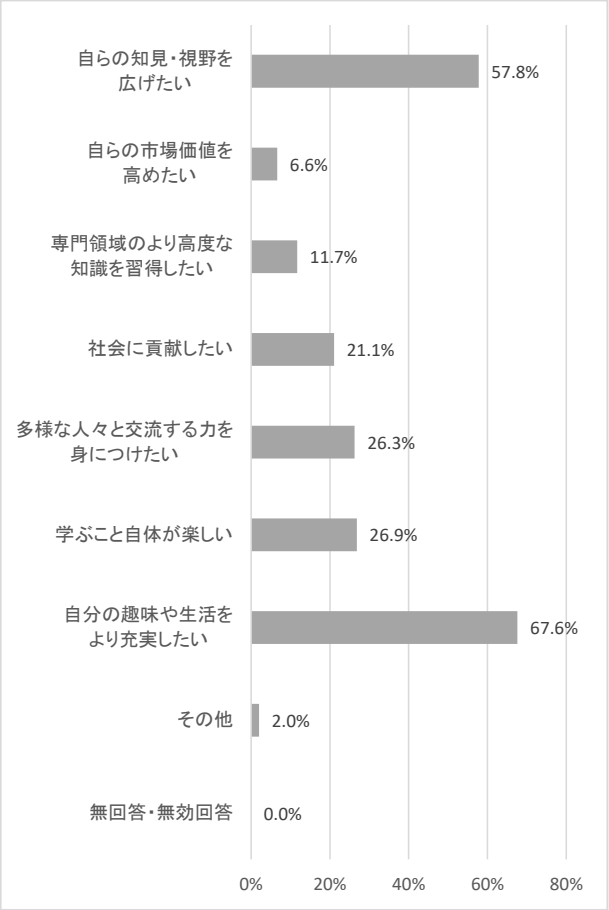
（6）（５）の回答理由（当てはまるものすべて）

※（5）で、「はい」を選んだ方のみ

・生涯を通じて学び続けたいと思う理由としては、「自分の趣味や生活をより充実したい」（67.6%）と「自らの知見・視野を広げたい」（57.8%）を挙げる回答者が多い。

n＝692

選択肢	回答数	回答比率
自らの知見・視野を広げたい	400	57. 8%
自らの市場価値を高めたい	46	6. 6%
専門領域のより高度な知識を習得したい	81	11. 7%
社会に貢献したい	146	21. 1%
多様な人々と交流する力を身につけたい	182	26. 3%
学ぶこと自体が楽しい	186	26. 9%
自分の趣味や生活をより充実したい	468	67. 6%
その他	14	2. 0%
無回答・無効回答	0	0. 0%



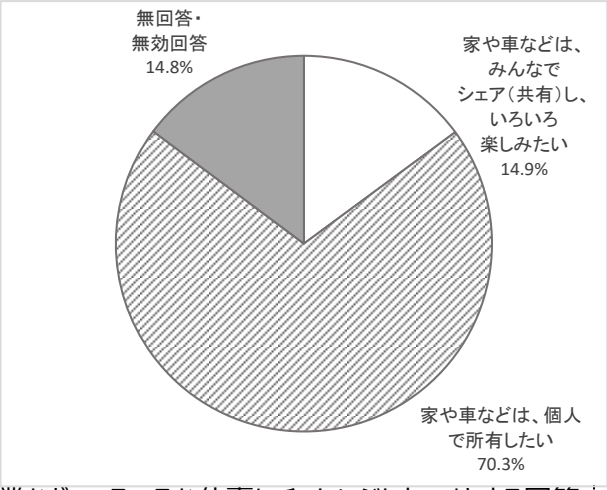
（7）望むライフスタイル

A

・「家や車などは、個人で所有したい」とする回答者が70.3%と７割を占めており、シェアすることよりも所有を望む回答者が多い傾向にある。

n＝1, 162

選択肢	回答数	回答比率
家や車などは、みんなでシェア（共有）し、いろいろ楽しみたい	173	14. 9%
家や車などは、個人で所有したい	817	70. 3%
無回答・無効回答	172	14. 8%
合計	1, 162	100. 0%

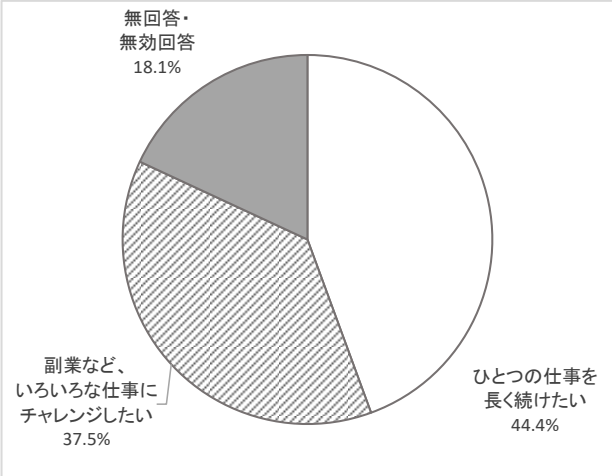


B

・「ひとつの仕事を長く続けたい」とする回答者が 44.4%、「副業など、いろいろな仕事にチャレンジしたい」とする回答者が 37.5%と働き方の希望については、票が割れている。

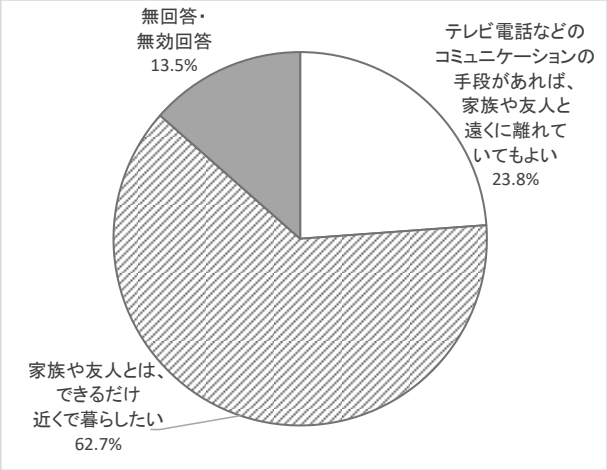
n＝1, 162

選択肢	回答数	回答比率
ひとつの仕事を長く続けたい	516	44. 4%
副業など、いろいろな仕事にチャレンジしたい	436	37. 5%
無回答・無効回答	210	18. 1%
合計	1, 162	100. 0%



C

・「家族や友人とは、できるだけ近くで暮らしたい」とする回答者が 62.7%と６割を占めており、身近な人との近居を望む回答者が多い傾向にある。

n＝1, 162

選択肢	回答数	回答比率
テレビ電話などのコミュニケーションの手段があれば、家族や友人と遠くに離れていてもよい	277	23. 8%
家族や友人とは、できるだけ近くで暮らしたい	728	62. 7%
無回答・無効回答	157	13. 5%
合計	1, 162	100. 0%